

2019年度 推薦入学試験（体育推薦） 総合文化学部 社会文化学科「出題の意図」

1. 実施状況

志願者数・合格者数

志願者数	合格者数
4	4

※志願者数・合格者数は、指定競技推薦を含む

2. 社会文化学科 アドミッション・ポリシー

社会文化学科は、沖縄国際大学の「アドミッション・ポリシー」を以下の通りに具体化し、「沖縄」と「人間」について学ぶ意欲と関心を持ち、自らの個性と人間力の向上に努める人材を求めます。

1. 沖縄を理解するための知的好奇心と知的探求心をもつ人物。
2. 沖縄をとりまく世界の社会や文化の動きに深い興味と関心をもつ人物。
3. 沖縄をとりまく世界の問題と向き合うための基礎学力を有する人物。
4. 自らの問題意識のもと、フィールド（現場）に出て積極的に情報を集め考え判断し、主体的に行動することができる人物。
5. 国際交流・地域・ボランティア・文化・スポーツなど学内外の活動に主体性と協調性をもって取り組める人物。

A O型入学試験では、上記の5項目のうち、特に1、4、5の各項目を重視します。

具体的には、

○項目1については、「知的好奇心」や「知的探求心」を、大学生活の中でどのように発揮しようと考えているのかを説明できることを求めます。

○項目4、5については、これまでの実績を具体的に説明できることを求めます。

3. 出題の意図

社会文化学科では、アドミッション・ポリシーに掲げる通り、「社会や文化の動き」に対して興味・関心を持ち、「問題と向き合うための基礎学力」を有する人材を求めている。そのため今回の課題は、体育推薦入試であることも考慮して、スポーツの観点から社会に対する関心を問う内容とした。本課題は、スポーツと社会との関係について、互いが影響を与え合うものであるという前提に立って、その関係の具体的なあり方を説明するよう求めている。入学希望者がそれに応えるためには、自分自身の経験や最近の社会の動きをふまえて、互いに影響し合う関係を十分に意識して整理しながら解答することが求められる。さらに、その説明をふまえて重視すべきポイントを説明するためには、主体的に論点を見出すための思考力・判断力が必要とされる。それを小論文として課すことによって、入学希望者の思考力・表現力をはかり、本学科のアドミッション・ポリシーに対する合致度を確認することが、出題の意図である。

4. その他特記事項（評価のポイント・アドバイスなど）

評価のポイントは、以下の3点である。第一は、出題の意図を正確に理解できているかどうかである。本課題が問っている双方向の影響を明確に区別しながら説明し、それとの関連で自分が重視するポイントを提示することが必要である。第二に、近年の社会的な動きに対して関心を持ち、それを具体的な説明につなげることが必要である。第三に、全体の説明に整合性をもたせながら、自分の考えを論理的に表現することが必要である。思いついた事例を無秩序に並べるのではなく、論理的な展開を強く意識しながら自分の考えを述べることが重要である。